

4 小学校編

(1) 各教科の結果・分析の概要

【国語】

- 話し手が伝えようとしている内容を正しく聞く力、どのような話し方の工夫がされているかを正しく聞く力、登場人物の心情を想像しながら読む力、考えの根拠となっている事実を正しくとらえて読む力、漢字を正しく読む力などが身に付いている。
- 読み取ったことを手がかりにして主人公に対して伝えたいことを書く力、主人公の気持ちの変化に注意しながら読む力、前の学年までに学習した漢字を正しく書く力などは、今後一層高めていく必要がある。

【社会】

- 社会的事象の特色や用語の意味などはよく理解されている。資料から正しく読み取る力や、地図の縮尺を活用する力も身に付いている。また、比較の観点で資料から読み取り、事実を表現する力は高まってきている。
- 資料の数値を正しく読み取り、変化の様子を正しくとらえる力、自分の考えを適切に表現する力、各時代の特色やその時代に起きたことがらとその背景を考える力、四方位を正しく理解し、活用する力などは、今後一層高めていく必要がある。

【算数】

- 小数や分数などの数についての理解や、小数や分数の加減乗除などの計算技能が身に付いている。また、図形の面積や体積の求め方、図形の性質などについてもよく理解されている。昨年度課題であった、単位量あたりの大きさについても理解されつつある。
- 計算技能に比べ、自分の考えを式に表す力がやや弱い。また、数量の関係を○、△などを用いて式に表す力にも課題がある。問題場面から数量を選び出したり、根拠を明確にして演算を決定したり、順序よく式に表したりする力を、今後一層高めていく必要がある。

【理科】

- メダカの卵及び胎児の様子の変化など基本的な内容はよく理解されている。また、リトマス紙を使った水溶液のなかま分けの仕方などの観察・実験の技能、がけの観察記録と関係付けて地層の様子や広がり方を考えるなどの科学的な思考力については、おおむね身に付いている。
- マメを空気にふれさせないようにする方法や水の流れる速さを調べる方法を記述するなど実験を企画する力や、だ液の働きを調べる実験においてヨウ素液の反応の意味を理解して実験結果から考察し自分の考えを的確に表現する力については、今後一層高めていく必要がある。